

## 区政を問う 第2回定例会

## 一般質問と答弁 要旨

「異例な事態である！」  
「学校の先生が足りない！」

自由民主党目黒区議団 佐藤 昇 議員

東京都の公立小学校約50校で、教員の配置に欠員が生じていた。令和4年4月、年度初めの欠員は異例の事態である。今後も教員の育児休業・病気休職などにより欠員は増加し、より深刻な状況が見込まれる。区は、保護者に教員の働き方改革の説明と、児童・生徒への影響を最小限に留めるよう努めよ。

教育長 「目黒区立学校(園)における働き方改革実行プログラム」を改訂し、さらなる改善に取り組む。校長に人的配置に関する具体的な助言をしたり、教育委員会事務局に在籍する校長経験者を適時派遣したりするなどの支援を講じるとともに、東京都教育委員会と連携し、教員の確保に努める。

「介護職員」の負担軽減

ICT技術や補助職員の活用、書式統一化とデジタル化推進により、介護の質向上と職員負担軽減を進めよ。

区長 政府の規制改革推進会議において議論されており、国の動向を注意深く見守っていく。

保育施策は、区内の地域ごとのさまざまな需要を把握し、エビデンスに基づき政策立案せよ。

区長 保育需要に見合う定員管理を適切に行い、安定した施設運営を進める。

「学校の部活動」への取り組み

部活動の地域移行は、学校の実態

にあった、一過性でない取り組みをせよ。

教育長 他自治体における実践事例の分析や、地域スポーツ団体との連携・協働の在り方等も含め、区長部局と連携を図りながら、慎重に検討を進める。

デジタル教科書

個別最適な学びと、協働的な学びの一体的充実を図るよう紙とデジタルの長所の組み合わせで授業を進めよ。

教育長 国の動向を注視し、それぞれの良さを生かすよう正式導入に向け検討を進める。

「学校」の役割

区長 (1)環境学習を含め、さまざまな機会を捉えて、理解の浸透、意識啓発に取り組む。(2)今後も区民への意識啓発を図る。

リトルベビーハンドブック

低出生体重児と家族のためにリトルベビーハンドブックを作るべきである。

区長 小さく生まれたお子さんの家族のニーズ把握に努め研究していく。

障がいを知り、共に生きる「あいサポート運動」

支え合う温かな目黒にするため、鳥取県と協定を結び「あいサポート運

動」を導入すべきである。

区長 障害者差別解消支援地域協議会の中で情報を共有し、委員や障害者団体の意見も伺いながら検討する。

「学校」の役割

## 「支え合う温かな目黒」をめざして

公明党目黒区議団 いいじま 和代 議員

ヤングケアラー※1 (1)ヤングケアラー対策の区の進捗状況を聞く。(2)ヤングケアラーコーディネーターや訪問事業が必要である。

区長 (1)ヤングケアラーの社会的認知度の向上に向けて、要保護児童対策地域協議会等と連携協力を図りながら進めている。(2)関係機関との連携協

力体制を構築した段階で、ヤングケアラーコーディネーターの活用を図るなど、順次進めていく。

食品ロス削減・フードドライブ※2 (1)子どもたちの環境学習に「食品ロス」の学習を取り入れるべきである。(2)フードドライブを地域で行い「もったいないをありがとう」の精神を目黒中に広げるべきである。

## 環境基本計画等の改定は実践的で即効性のある計画に

日本共産党目黒区議団 斉藤 優子 議員

再エネ※1を自給し、自立分散型エネルギーでカーボンニュートラル※2実現に向けたビジョンを策定せよ

(1)冷暖房設備を集中型から省エネに適した小口、分散型へ。(2)既存の区有施設にも再エネ電力を導入せよ。

区長 (1)個々の施設の状況や特性に応じて整備していく。(2)検討できるか

今後の調査研究課題としたい。

(1)省エネ学習や啓発を強めよ。(2)区独自で、一目見て省エネ、再エネ、ZEB※3化が分かるようにWEB上で周知せよ。(3)民間団体と協力し相談窓口を設置せよ。

区長 (1)啓発や環境学習の促進に一層取り組む。(2)分かりやすく周知できるように、今後とも努めていく。(3)区内

建築関連業者で構成する目黒区住宅リフォーム協会の会員による「住宅増改修相談」事業を引き続き実施する。

みどりの保全

(1)区民センター公園の貴重な樹木を維持し増やせ。(2)保存生垣の助成要件を10m以上に緩和せよ。

区長 (1)みどりの条例に基づく樹木の保全や緑化計画などの基準を踏まえ、魅力ある公園づくりに取り組む。(2)今後予定しているみどりの実態調査で、必要性も含め検討する。

「学校」の役割

に検討する。建て替え後も、企画展の開催、ワークショップの充実、区民ギャラリーでの作品発表の機会を提供するとともに、広く美術館の魅力を情報発信していく。

アート作品は多くの人に共有されるべきである。美術館所蔵作品を区有施設にも展示し、区民がアートを身近に楽しめる空間を創出せよ。

区長 所蔵作品の有効活用は、引き続き検討していく。

建設中にアートの力で街の風景を変える仮囲いアートを工事期間中

に設置し、街の新しい価値を創出せよ。

区長 個々の施設ごとに判断・検討していく必要がある。

学校建て替え時に芸術文化のエッセンスを取り入れ、児童・生徒が芸術文化に親しみ創造力を育む学校を目指せ。

教育長 子どもたちの豊かな心を育む環境づくりを念頭に、学校施設更新を進める。



## 「奨学金」と「遊び場」

新風めぐろ かいでん 和弘 議員

目黒区奨学金の改善・充実を

目黒区の奨学金制度※1は、近年、利用者が0件～2件と低迷している。その要因は、他団体の行う2つの制度と丸被りしているためであり、決して学費支援へのニーズがなくなっているわけではない。給付型奨学金※2の創設を含め、制度の改善・充実が必要ではないか。

区長 国の高等学校等就学支援金制度改正や、目黒区奨学金制度の課題を踏まえ、高校進学を控えた子育て家庭への財政支援という側面だけでなく、次代を担う子どもたちへの支援という視点から、制度の再構築を図っていく。

ランランひろば※3の実施日拡大を

区内約半数の小学校で実施しているランランひろばは、実施日が平

日の学校開校日と夏休み期間に限られているが、他区では半数以上が冬休み・春休みや学校行事の代休日にも実施できている。目黒区の学童待機児童数が3年後にピークを迎えると予測される中、冬休み・春休みや代休日にもランランひろばを実施し、年間を通じて安定した子どもの遊び場を確保できないか。

区長 実施日の拡大にあたっては、活動場所について、学校との調整や実施日拡大に向けた事業者との調整など、安定的な運営に向けて課題の検討を進

めている。他区の事例等も参考にしながら、引き続きランランひろば事業の拡充に向けて検討を進める。

《用語解説》  
※1 目黒区奨学金制度 私立高校への入学資金を最大30万円まで貸与する制度。  
※2 給付型奨学金 返済の必要がない奨学金。  
※3 ランランひろば 小学校の校庭や体育館、特別教室等を活用し、放課後や夏休みに職員の見守りの中で自主遊びや自主学習を行うことができる居場所を提供する事業。

祖父母たちの日常と、  
我々世代の「今」は繋がっている

岸 大介 議員

大東亜戦争戦没者への弔意や、名誉を守るための取り組みは、社会教育の中にこそ反映を。本区での戦後教育、意識啓発の実情を問う。

区長 毎年さまざまな平和記念事業を行っている。引き続き、平和教育や平和に関する意識の啓発・醸成への取り組みを、工夫しながら進めていく。

ICT活用で保育予約や図書貸し出しの  
利便性向上を

自由民主党目黒区議団 西村 ちほ 議員

誰もが利用しやすい病後児保育

(1)病後児保育利用料について、所得に応じた減免を。(2)現状は施設ごとに電話問い合わせが必要な病後児保育と一時保育。予約状況をまとめたネット予約システムの導入を。

区長 (1)低所得世帯への減免措置等の負担軽減策について検討する。(2)予約システムの導入について前向きに検討する。

子どもの性被害防止の取り組み強化

教職員等の採用時に、過去のわいせつ事案など賞罰や懲戒免職歴等

を確認しているか。常勤以外の職員等についても一定確認すべきだがいかがか。

区長 区の常勤職員の場合は欠格条項※1により犯罪歴などがないかどうかの確認をしている。会計年度任用職員の場合には、確認までは行っていないが、欠格条項にあたらないことが採用申し込みの条件になっている。

図書貸し出しをカードレスで

図書館カウンターで、貸出券の代わりにスマートフォン等で図書を借

りられる機能を加えてはいかがか。  
教育長 スマートフォンなどの端末に各自の貸出券を表示できる新たな機能を加え、図書貸し出しのカードレス対応が行えるよう、年度内の実施に向けて準備を進めている。

《用語解説》  
※1 欠格条項 地方公務員法第16条のこと。該当する場合は、職員になることや採用試験を受けることができない。

視点を変え、視界を広げて、  
大きく包み込むように

公明党目黒区議団 関 けんいち 議員

不登校児童・生徒への対応

目黒区立小・中学校の不登校は増加している。令和元年度文部科学省調査で、全国の児童・生徒のうち90日以上長期欠席者も全体の55%と深刻だ。(1)不登校対応の目指す姿について伺う。(2)不登校中の子と親とのコミュニケーションの状況を伺う。(3)登校できず

に中学を卒業した生徒のその後の状況を伺う。

教育長 (1)児童・生徒一人一人の状況や課題に合わせて、教育相談員、スクールカウンセラー※1、スクールソーシャルワーカー※2、そしてめぐろエミールの専門性を生かした効果的な支援を進める。(2)親の叱責、親の言葉・態度への反発、親の過干渉・放任など

が課題となっている。(3)区長部局を含む関係機関とも連携しながら、一人一人の状況に応じた支援を進める。

子どもの弱視早期発見

眼鏡などを使っても十分な視力が得られない弱視の子は、国内に50人に1人。6歳までの早期発見・治療は欠かせない。弱視の発見は3歳児健診時の屈折検査が有効だが、検査機器の導入について、所見を伺う。

区長 検査体制および環境整備を検討している。専用の検査機器を用いた屈折検査は、できるだけ早期に開始する。

《用語解説》  
※1 スクールカウンセラー 臨床心理に関し専門的な知識と経験を有し、心の専門家として助言・援助を行う者。  
※2 スクールソーシャルワーカー 教育分野と社会福祉等の知識や技術を有し、問題を抱えた児童・生徒が置かれた環境へ働き掛けたり、関係機関等とのネットワークを活用したりするなど、課題解決を図るコーディネーター的な役割を担う者。

目黒区全域を  
芸術文化の香りあふれる街に!

フォーラム目黒(立憲民主・無所属の会) 鴨志田 リエ 議員

大規模施設や24の学校の建て替えは、目黒の街を進化させる好機である

目黒区美術館が発信してきた芸術文化の香りを建て替える区民センターの敷地全体にどう広げるか問う。

区長 芸術やスポーツ、学びやレクリエーション、憩い等が享受できる「新し

い文化・交流の拠点」とするとともに、敷地全体で芸術文化の香りを感じられるように整備を進める。

区民センターと共に建て替え予定の美術館は、年間100日閉館である。多様な価値観を認め合うアートセンター・貸館としても活用せよ。

区長 美術館機能整備の詳細は、慎重

に設置し、街の新しい価値を創出せよ。

区長 個々の施設ごとに判断・検討していく必要がある。

学校建て替え時に芸術文化のエッセンスを取り入れ、児童・生徒が芸術文化に親しみ創造力を育む学校を目指せ。

教育長 子どもたちの豊かな心を育む環境づくりを念頭に、学校施設更新を進める。

とせず、新耐震木造住宅検診法を周知する。木造住宅の耐震診断は、全額助成に戻さない。(2)これまでどおり、木造住宅密集地域を対象として重点的に進めていく。

住宅リフォーム工事費助成の拡充を

住宅本体だけでなく、外構部分や門扉、車庫、住宅と直結している店舗、事業所も助成対象とすべきだが、いかがか。

区長 居住環境に直接関係しない外構

部分や店舗等を対象とすることは助成制度の趣旨から外れることから、助成対象としない。

《用語解説》  
※1 感震ブレーカー 地震で規定値以上の震動を感知したときに、電気を自動的に遮断し、電気機器等からの出火を防ぐ器具。